

過去と未来の帰港地

さとの島の 銀河芸術祭

プロジェクト 2022

Sado Island Galaxy Art Festival

8.7(日)-10.9(日)

作品鑑賞時間

10:00-17:00

会場によって鑑賞時間が異なる場合があります。

会場

佐渡島内複数箇所

詳細はWebサイトをご覧ください。



主催 | さとの島銀河芸術祭実行委員会 / 一般社団法人佐渡国際芸術推進機構 / アース・セレブレーション実行委員会 / 佐渡市
総合プロデューサー | 吉田 盛之
アドバイザー | 榎木 野衣 / 宇川 直宏 / 小川 弘幸
インディペンデント・キュレーター | 菊田 樹子



SADO ISLAND
GALAXY
ART FESTIVAL

イベント Event

A DOMMUNE 公開収録LIVE DOMMUNE Presents 「LANDSCAPE MUZAK」PROJECT SADO #2 八代亜紀「舟唄2022」

日時／2022年9月15日(木) 17:00-18:00(予定)

場所／佐渡市魚市場

入場料／前売り：¥3,500 当日：¥4,000

内容／DOMMUNEによるプロジェクトシリーズ「LANDSCAPE MUZAK」は、世界中の音楽家の方々に佐渡を視察していただき、心に響いた集落でライヴを行い(後に番組化)またその世界観を共に作品化し、佐渡島の各地域に作品をインストールしていくプロジェクトで、何と第一弾のテリー・ライリー氏に次ぎ、第二弾として77年のトラック野郎時代から新潟～佐渡に縁ある八代亜紀氏をフォーカス!



「DOMMUNE」について

現代日本のアートシーンの中でも際立った存在感を放つ宇川直宏が、今や世界的な伝説となった『Mixrooffice』(2006～2008)の後、ソーシャルストリームの時代を見据えた新たな文化発信拠点として、2010年に開局させた日本初のライブストリーミングスタジオ『DOMMUNE』!! SNSの夜明けと言われた時代に「ファイナルメディア」として忽然として現れ、百花繚乱のライブストリーミング番組の中でも、圧倒的な番組の質とビューワー数を誇り、開局以来、世界各国

から様々なゲストが来日のたびに出演する唯一無二の文化プラットフォームとして存在し続けている。開局10周年を第二章とし、2020年、最前衛テクノロジーと共に進化形態『SUPER DOMMUNE』を渋谷PARCO9Fにオープン! 2010年、DOMMUNEの活動に於いて、第14回文化庁メディア芸術祭、審査委員会推薦賞。2021年、令和2年度(第71回)芸術選奨文部科学大臣賞受賞。

B アート・キャンプ

さとの島銀河芸術祭のイベント企画として、新しい形のキャンプフェスが行われます!

日時／2022年11月12日(土) - 13日(日)

場所／新保八幡宮(予定)

詳細決定次第、公式ウェブサイトで発表



C 東ちづる講演会 「誰も排除しない『まぜこぜの社会』をめざして」

日時／2022年10月30日(日) 開演 14:00

場所／アミューズメント佐渡

内容／障がい者も健常者もマイノリティの方も誰もが自分らしく生きられる「まぜこぜの社会」を目指して活動する東ちづるさんの講演を行います。前半は講演会、後半は佐渡市長の渡辺竜五と、さとの島銀河芸術祭プロデューサーの吉田盛之を交え、パネルディスカッションを行います。



ボランティア募集

宇佐美雅浩 Manda-la in Sado

・美術大道具作

・Manda-la撮影の要となる北前船の作成のお手伝い
工務店の方の指示に従い船の制作のお手伝いをお願いいたします。

期間 2022年7月15日(金) - 8月17日(水) [22日間]
募集人数 3人

・美術セット設置作業、撤収作業

・撮影日の6日前から船と帆を田んぼに設置します。(6日間)
・撮影終了後、全ての美術セットを田んぼから撤収いたします。(5日間)

期間 2022年9月4日(日) - 9月15日(木) [12日間]
募集人数 24人

・美術セット設置作業

・中央に配置する能舞台と船を実際に田んぼの中に設置します。

期間 2022年8月25日(木) - 9月2日(金) [6日間]
募集人数 6人

・撮影時のエキストラ

・撮影日は9月10日(雨天の場合予備日で11日)になります。
その際エキストラとして写真に入ってくださいの方を募集しております。

期間 2022年9月10日(土) [予備日9月11日(日)]
募集人数 なるべく多く

D シンポジウム

日 時 / 2022年9月18日(日) 15:00-17:00

場 所 / 佐渡島開発総合センター 3Fホール

内 容 / 芸術祭に関わるメンバーや企業のリーダー、行政関係者、助成団体が、さとの島銀河芸術祭の未来について語るトークイベントを開催いたします。
詳細は後日、公式SNSや公式ウェブサイトでご告知いたします。

登壇者 / 渡辺竜五(佐渡市長)、山井梨沙(株式会社スノーピーク代表取締役・(一社)佐渡国際芸術推進機構理事)、渋谷修太(フラー株式会社創業者・代表取締役会長)、内田真一((公財)福武財団助成部門セクションリーダー)、吉田盛之(さとの島銀河芸術祭総合プロデューサー・(一社)佐渡国際芸術推進機構代表理事)



さどポルテ

日 時 / 2022年11月3日(木)～2023年1月31日(火)

場 所 / 佐渡島内複数箇所、オンライン

内 容 / 「島民みんながアーティスト」をスローガンに、さとの島銀河芸術祭が主催となり、佐渡島内全域で開催する、文化・芸術に関わるたくさんのイベントを集めた島民文化祭です。

公式ウェブサイトは近日公開

最新情報はFacebookでご確認ください <https://www.facebook.com/sadoporte>



アート・ツアー

日 時 / 2022年8月～11月の会期中の土日に複数日

場 所 / 佐渡島内

ガイド / 池田哲夫氏(新潟大学名誉教授)、吉田盛之(さとの島銀河芸術祭総合プロデューサー)

内 容 / 芸術祭の作品展示会場や、定期観光バスでは訪れることのない場所を貸切バスで巡る「アート・ツアー」(1泊2日ツアー・日帰りツアー)を開催します。民俗学的視点やアートの視点で、佐渡の魅力をつまみ食い楽しめる内容です。ツアーでは新潟大学名誉教授の池田館長と吉田盛之(芸術祭プロデューサー)のガイド付き。杉本 浄(歴史学者・東海大学准教授)・門田岳久(民俗学者・立教大学准教授)監修佐渡をめぐるコースもあります。



ツアー詳細

【1泊2日ツアー】

- ①9月17日(土)～18日(日)
特別拝観付観光コース(南佐渡地区～西三川地区～国中地区)
- ②10月1日(土)～2日(日)
能舞台コース+天領佐渡両津薪能+特別拝観付観光コース(両津地区～国中地区)
- ③10月22日(土)～23日(日)
小佐渡・大佐渡をめぐる民話説明コース(両津～小佐渡エリア～大佐渡エリア～相川)

【日帰りツアー】

- ④8月20日(土)
芸術祭プロデューサー吉田盛之と巡る佐渡(両津～大川～岩首～相川)
- ⑤8月27日(土)
杉本 浄(歴史学者・東海大学准教授)・門田 岳久(民俗学者・立教大学准教授)監修
佐渡の自然をめぐるコース(相川地区～達者地区)
- ⑥9月23日(金・祝)
芸術祭プロデューサー吉田盛之と巡る佐渡(両津～大川～岩首～相川)
- ⑦10月10日(月・祝)
民話説明コース(大佐渡地区～相川～両津)
- ⑧11月3日(木・祝)
両津・南佐渡をめぐる観光コース(両津～南佐渡地区)

旅行代金

【1泊2日ツアー】 大人お一人様(税込)

- ①9月17日(土)～18日(日)
特別拝観付観光コース 22,000円
- ②10月1日(土)～2日(日)
能舞台コース+天領佐渡両津薪能+特別拝観付観光コース 25,000円
- ③10月22日(土)～23日(日)
小佐渡・大佐渡をめぐる民話説明コース 22,000円

【日帰りツアー】

さとの島銀河芸術祭開催中のさとの島をめぐる日帰りツアー
各コース・各出発日 大人お一人様8,000円(税込)
◆8/20発・9/23発「芸術祭プロデューサー吉田盛之と巡る佐渡」にご参加の方は「芸術祭バスポート」が必要です。

【募集定員】

各出発日20名(最少催行人員各出発日10名)

ツアーの詳細、お申し込みはこちらまで

URL / https://va.apollon.nta.co.jp/galaxy-art_tour_2022/



01

DOMMUNE Presents 「LANDSCAPE MUZAK」PROJECT SADO #1 「Wakarimasen」

テリー・ライリー

展示／8月中旬開始予定



私が日本で作った音楽を表現するための、永続的なモニュメントとなります。モニュメントの高さは3メートルで、2メートルの腕は1メートルの台座の上に乗っています。このモニュメントを訪れた人は、モニュメントの近くに用意されている木製のバチでチャイムを叩き、メロディーを奏することができます。旋律の順序は、左腕の親指からはじまり、右腕の親指側で終わります。ですが、どのように叩くかは鑑賞者の自由です。

会 佐渡市役所 相川支所 駐車場(予定) 住 佐渡市相川塩屋町26
P 佐渡市役所 相川支所

Terry Riley 作曲家／演奏家としてのテリー・ライリーは、1950年代後半にサンフランシスコ・ベイエリアで活動を開始して以来、60年以上にわたって活動しており、現在は日本を拠点に活動を続けている。



DOMMUNEの最新プロジェクト「LANDSCAPE MUZAK」は、世界中の音楽家に日本列島を視察していただき、心に響いた集落にサウンドトラックを作成、現地でライブストリーミング、その世界観を彫刻化し各地域に音響モニュメントをインストールしていくプロジェクト。第一弾をテリー・ライリー氏が担当。

02

競売 auction

ホンマタカシ



競売という日本語は独特の強さがあるが、英語だと「auction オークション」や「フォック」という言葉を容易に連想できるように、とたんに軽い響きになる。そもそも日本と欧米とはお金にたいする意識が、かなり違うのかもしれない。土地ごと33万六千円で特別売却された佐渡グランドホテルの写真を同じ値段で、売ってみる。お金とその対価について、考えてみたい。

会 旧魚市場 住 佐渡市両津夷海方375
P 両津港北埠頭駐車場
協力：小池アイ子

Takashi Homma 写真家。

1999年、写真集「東京郊外 TOKYO SUBURBIA」(光琳社出版)で第24回木村伊兵衛写真賞受賞。

2011年から2012年にかけて、個展「ニュー・ドキュメンタリー」を日本国内3ヵ所の美術館で開催。

著書に「たのしい写真 よい子のための写真教室」、近年の作品集に「THE NARCISSISTIC CITY」(MACK)、「TRAILS」(MACK)がある。また2019年に「Symphony その森の子供 mushrooms from the forest」[「Looking Through - Le Corbusier Windows」]を刊行。



03

Manda-la in Sado

宇佐美雅浩

公開日／10月末～(予定)



仏教絵画の「曼荼羅」のように、ある人物を中央に配し、その人を取り巻く世界を表すものや人を1枚の写真に収める「Manda-la」。宇佐美は、撮影地に何度も足を運び、現地の人々と対話を繰り返しながら、現代社会が抱える問題や目に見えにくい歴史を浮かび上がらせてきた。佐渡では、コロナになる約3年前から現地の人々と対話を重ね、今年2022年に岩首昇竜棚田から佐渡島の文化を一枚の写真に収めるプロジェクトを行う。作品のテーマは、「佐渡は流刑の歴史があるが、そうではなく、文化が宝船に乗って運ばれてきた島。」

会 TAACHI 2階 住 佐渡市両津夷53-1 P 両津港北埠頭駐車場

早志百合子 広島 2014/Hayashi Yuriko, Hiroshima 2014

タイプ C プリント / Type C print USAMI Masahiro Courtesy of Mizuma Art Gallery

宇佐美雅浩 1972年千葉県千葉市生まれ。1997年武蔵野美術大学視覚伝達デザイン学科卒業。仏教絵画の「曼荼羅」の如く、中心人物と、その人物の世界を表現する物や人々を周囲に配置し、1枚の写真に収める「Manda-la」プロジェクトを20年以上続けている。

様々な地域を舞台に、リサーチや対話を重ねて制作されるその写真は、地域の歴史や社会をも映し出す。近年の主な展覧会に2021年「千の葉の芸術祭」(千葉県千葉市)、「さとの島銀河芸術祭」(新潟県佐渡市)。東京在住。



04

Milky Way—for all human beings

大垣美穂子



銀河のような光を放つ人体をモチーフにした立体インスタレーションシリーズ「Milky Way」をはじめ、死後の世界をテーマにしたビデオ・サウンド・インスタレーション《before the beginning—after the end #2 return to the source》からなる壮大な展示空間に、大垣は「すべての人間へ向けて」というメッセージを込めました。

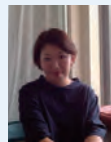
人間の様々な感情としての小さな点や光の粒が渦のように集まり、象(かたち)が生まれ、儂く消滅していく循環を、宇宙のような空間全体でダイナミックに体現します。

会 TAACHI 1階 住 佐渡市両津夷53-1 P 両津港北埠頭駐車場

※混雑回避のため入場制限をさせていただく場合があります。

「Milky Way—before the beginning—after the end 2021」原爆の図丸木美術館、2021年 撮影：大島成己 協力：KEN NAKAHASHI

大垣美穂子 大垣美穂子は1973年富山県生まれ。1995年に愛知県立芸術大学美術学部美術科油画専攻を卒業。1996年からドイツ国立デュッセルドルフ・クンストアカデミーに留学。2004年に同大学を卒業し、ドイツで活動した後、2010年に拠点を日本に移し活動しています。



05

600°C

ジル・スタッサール+ラ・パゴッド/Gilles Stassart + La Pagode



自然や農業をたべものに変化させる調理の中心には、つねに火が存在する太古から人間は火を焚く動物だった森から切り出した薪を火に焚べ、火のちからをかりてわたしたちは食べものをえるこの島に住むようになり原初的な火の存在を生活に取り戻しつつある火を取り戻すことは、それを共有する社会そのものを取り戻すことでもある

会 TAACHI 2階 住 佐渡市両津夷53-1 P 両津港北埠頭駐車場

ジル・スタッサール+ラ・パゴッド《hi no kami》2022年 滝沢達史撮影 増田拓史協力

ジル・スタッサール+ラ・パゴッド 1967年フランス・ヴェズレー生まれ。三ツ星レストランL'Esperanceのシェフ・マーク・ムノー氏の元でヌーヴェル・キュイジーヌを学ぶ。1998年から2007年まで、「BeauxArts Magazine」誌のキュリナリーデザイン部門の総編集を担当。2005年、Val-de-Marne市立現代美術館内レストラン Le Transversal を立ち上げ、シェフを務め、Le Général de Table社を設立し代表取締役を務める。2009年から2010年まで、Electrolux社の出資により1年限定のレストランNomiyaの芸術監督兼シェフを務める。



06

Mystery Above, Mystery Below 下に謎、上に謎

ポル マロ/Pol Maló



「上に謎、下に謎」は生命・世界・宇宙の神秘を含んでいる場合があります。それはまた、私たちが苦悶している社会の階層や構造についてのものでもあります。どれがフィクションで、どれが現実なのか。謎は、自己、社会、文化の中心にあります。歴史とは、謎と折り合いをつけるための継続的な試みなのかもしれません。私たちが苦しめているのは、永遠に掴みきれない意味の深さです。ミステリーとの闘い、社会との闘い。

会 青野屋 住 佐渡市両津夷91 P 両津港北埠頭駐車場

展示プランのラフスケッチ

ポル マロ アーティスト(ペインティング、インスタレーション、音楽)。90年代から東京を中心に活動。展示スペース付きレコード屋「茶柱レコード」を渋谷で開業(1999-2003)し、オリジナルレコードを発表。主な展覧会に「Roppongi Crossing」(2004森美術館)、「こもれび」(2003水戸芸術館)、「Out The Window」(2004国際交流基金東京)、「Sketchy Pop-Ups」(2004 SCAI the Bathhouse 個展)、「Phase of Post Music」(2000 ICC InterCommunication Center コンサート)、「Variations on a Silence」(2005 Re-Tem 東京)などがある。



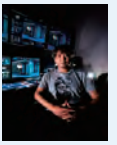
07

GITAI REBORN
KENTA MARUYAMA

佐渡をルーツとし心で描く日本画家、故 桑原義泰。金井名誉町民であり佐渡百選で人物としても選ばれている。享年96歳まで精力的に一貫して佐渡の自然の絵を描き続けた。今回の作品は、桑原義泰が亡くなる寸前まで筆を進め未完のまま残されている最後の作品を、孫にあたる丸山健太が、照明・映像技術を用い命を与え作品を完成させる。

会 義泰画廊趣味憩いの場 住 佐渡市金井新保165
P 有

KENTA MARUYAMA SOLU
MEDIAGE inc. CEO/Producer
新潟県三条市出身。地元新潟から日本全国、世界へデジタル・クリエイティブ業界を牽引するプロデューサー。新潟でプロジェクトマーケティングを黎明期より展開。新潟にとどまらず全国・世界問わず映像演出、照明演出を用いた空間プロデュースを展開。常に時代の最先端を走る気鋭の新潟を代表するプロデューサー。2016年より財団法人プロジェクトマーケティング協会の理事として選任(東京)



08

DOMMUNE Presents 「LANDSCAPE MUZAK」 PROJECT SADO #2 「SUPER SQUID」
八代亜紀

DOMMUNEによるプロジェクトシリーズ「LANDSCAPE MUZAK」は、世界中の音楽家の方々に佐渡を視察していただき、心に響いた集落でライヴを行い(後に番組化)またその世界観を共に作品化し、佐渡島の各地域に作品をインストールしていくプロジェクトで、何と第一弾のテラー・ライリー氏に続き、第二弾として77年のトラク野郎時代から新潟〜佐渡に縁ある八代亜紀氏をフォーカス!

会 あいぼーと佐渡 住 佐渡市両津夷384-11
P 有

公開日/9月15日~(予定)

八代亜紀 熊本県八代市出身。1971年デビュー。1973年出世作「なみだ恋」を発売。その後、「愛の終着駅」「もう一度逢いたい」「おんな港町」「舟唄」等、数々のヒット曲を出し、1980年には「雨の慕情」で第22回日本レコード大賞・大賞を受賞。レコード・CDの総売上枚数が女性演歌歌手で1位の記録を保持している。また絵画では、画家の登壇とも言われる世界最古の美術展、フランスの「ル・サロン」で5年連続入選を果たし永久会員となる。



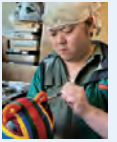
09

数光年彼方の惑星群
前田優作

「赤・青・黄」などの鮮やかな色や「丸・三角・四角」などの型を駆使して作品を制作している。今回は、芸術祭プロジェクトの展示にあわせ、これまでの制作方法を、立体、インスタレーション作品として昇華させた。我々が住む地球を中心点として捉えた時に、そこから何万光年という時空を超越したその先には、もう一つの地球が存在していて、そこには、もうひとりの自分が、全く違ふ別の人生を歩んでいる。このパラレルワールドの世界観をヒントにこの作品を制作しました。

会 ふれあいギャラリー 住 佐渡市両津夷183 P 両津港北埠頭駐車場

前田優作 1985年、新潟県小針市生まれ。幼少期から絵を描き始め、高校在学中にジミー大西氏の作品に影響を受け、高校卒業後、絵の道を本格化させる。



10

情景を紡ぐ
早稲田大学 古谷誠章・藤井由理研究室＋小岩金網株式会社

鉱山資材を運んでいたレールや資材を持ち上げるクレーンなど、かつて存在した佐渡金山までの生産システムが欠けてしまった大間港を舞台に、佐渡金山までの歴史的な繋がりを想起させ、相川町の情景を紡ぐオブジェクトを提案する。大間港に現存する遺構群も作品の一部として含むように、佐渡金山で使われていた揚水機を基とした螺旋形が、かつての生産システムや佐渡金山を想起させる。

会 大間港 住 佐渡市相川柴町16 P 有

早稲田大学 古谷誠章・藤井由理研究室＋小岩金網株式会社
早稲田大学 古谷誠章・藤井由理研究室と小岩金網株式会社による共同研究。2016年度に設立し、建築の「資材」として考えられている金網を「素材」として見直し、多様な種類と特性を理解することで、金網に対する考え方を拡張し、その価値を再検討、再発見することを目的とする。



11

Enso / Lifecycle
イーサン・エステス

クロマクロを研究する研究科学者として佐渡島沖の商業漁船で働いていた私は、船のデッキに配置されたきちんとした、しかし不規則なロープのコイルに触発されました。ロープは、禅における書画のひとつ「円相」(円形を一筆で描いたもの)を思い出させました。

会 caMoco cafe 湖ASOBi 横加茂湖畔 住 佐渡市原黒553番地28 P 有

イーサン・エステス 1989年生まれ。カリフォルニアを拠点とする芸術家・海洋科学者であり、彫刻や版画を通して、人間活動が海洋に及ぼす影響について表現している。スタンフォード大学において環境科学の修士号と修士号を取得し、海洋学とスタジオアートを学んだ。現在、カリフォルニア州サンタクルーズでアートスタジオとギャラリーを運営している傍ら、モントレー湾水族館において太平洋クロマクロの生態学の研究を行っている。



12

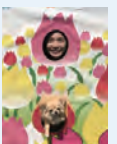
どんぶらこっこだんぶらこっこ
できやよい

佐渡島で江戸時代から沿岸漁業用に使用されているたらい舟と船(ろ)を、作品の支持体として作成した。

開場時間: caMoco cafe 湖ASOBiの営業時間に準ずる。

会 caMoco cafe 湖ASOBi 住 佐渡市原黒553番地28 P 有

できやよい 1998年京都芸術短期大学卒業後「日本ゼロ年」(水戸芸術館)や「ヴェネチア建築ビエンナーレ」多数の国際展に参加。最近では南国をモチーフにした作品が多い。



13

芸術民俗学ゼミ 生活文化研究フォーラム佐渡

公開日／8月29日～



佐渡を初めて訪れる6名の大学生たちが、島内の自然、歴史、文化、生活によって造形された、名のないアート作品を探し求め、映像や写真に収めていく。8月28日(日)には、両津・夷の商店街の空きスペースで、大学生が捉えた対象が何であったのかを紹介しながら討議する、公開セミナーを開催する。さらに、ゼミの内容を反映させた、映像・写真の展示会を行う。

会 旧佐渡ガスショールーム 住 佐渡市両津夷35
P 両津港北埠頭駐車場

生活文化研究フォーラム佐渡

杉本 浄(歴史学者・東海大学准教授)

門田 岳久(民俗学者・立教大学准教授)

2009年より佐渡で共同研究をスタート。以来、大学生や大学院生らとともに、廃校プロジェクト、小木民俗博物館での調査活動、宮本常一写真プロジェクトなどを実施してきた。現在、生活文化研究フォーラム佐渡の名称で、研究、調査、出版、ボランティア活動を継続している。



14

世阿弥の彼岸ボート ゴールデンクルージング 寺田佳央



佐渡という“彼岸”に流刑された世阿弥の書齋をイメージした作品。秋の“彼岸”の時になると、棚田は黄金に波打ち、木を曲げて梁を作ったドーム型の書齋は、ボートとなって“彼岸”へと漕ぎ出す。

会 岩首昇竜棚田 住 佐渡市岩首
P 岩首漁港 ※会場から約200m先の岩首昇竜棚田展望小屋の駐車場をご利用ください

寺田佳央 美術家。1975年静岡県生まれ。武蔵野美術大学院油絵コース修了。

協定留学によりパリ国立美術学校に留学。武蔵野美術大学パリ賞にて再度パリ、その後ベルリンに滞在制作。主に絵画の制作に取り組む。

近年は、素材と支持体の特性から新たな筆触や物質の表現を導き出し、主に水にまつわるイメージを使って、生物、力学、時間などをテーマに制作している。



15

FLOATING FUTURE in Sado YOSHIROTTEN

公開日／8月10日～(予定)

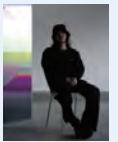


YOSHIROTTENは新たな角度から地球の景色を描くグラフィックアーティストです。佐渡島の自然に新たな気づきを見出すべく、ARの技術を用いて現実世界にバーチャル作品を展示するという試みを行いました。バーチャル空間を浮遊するグラフィックは、この時代、この世界を俯瞰してみる未来そのものの存在を表現しています。タブレットを通して見る本作品と佐渡の風景には、現実世界だけでは気づくことのできない、新たな発見があります。

会 大野亀 住 佐渡市願 P 有

YOSHIROTTEN 1983年生まれ

魚座。東京をベースに活動するグラフィックアーティスト。グラフィック、映像、立体、インスタレーション、音楽など、ジャンルを超えた様々な表現方法での作品制作を行う。また国内外問わず著名ミュージシャンのア트워크制作、ファッションブランドへのグラフィック提供、広告ビジュアル制作、店舗空間デザインなど、アートディレクター、デザイナーとしても活動している。ロンドン、ベルリンでの個展を経て、2018年 TOLOT heuristic SHINONOMEにて大規模個展『FUTURE NATURE』を開催。



16

AR SPRINGEN 宮田亮平

公開日／8月10日～(予定)



スマホで鑑賞する新しいインスタレーション。宮田亮平のイルカをモチーフとした代表作「シュプリングエン」シリーズが、AR技術で、佐渡の海を背景に展示される。

会 両津港 住 佐渡汽船カーフェリー甲板、あいぼーと佐渡岸壁
P 両津南埠頭駐車場、あいぼーと佐渡駐車場

宮田亮平 金工作家。新潟県佐渡に蠟型鋳金作家の2代目宮田藍堂の3男として生まれる。

昭和47年に東京藝術大学大学院美術研究科工芸専門課程(鍛金専攻)を修了。東京藝術大学教授・学部長を経て、同大学学長を10年務めた後、2016年4月より文化庁長官に就任。東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会「東京2020エンブレム委員会」委員長も務めた。



撮影者：鈴木理策

17

わたしは真悟 椋岡かずお



登場人物「さると」と「まりん」のような子供の頃の重要な感情や気持ち、現代社会における人間の悪意の存在について感じ取り、現在・過去・未来を考えるきっかけにと描かれた「わたしは真悟」。2018年、欧州最大規模の漫画の祭典「アングレーム国際漫画祭」で永久に遺すべき作品として「遺産部門」JAPAN EXPO AWARD 漫画部門・文化遺産賞を受賞した。この不朽の名作の最終舞台は佐渡島であり、同賞の受賞を記念する特別展示となる。

会 南埠頭ビル展示スペース 住 両津港南埠頭ビル2階 P 両津南埠頭駐車場

© 椋岡かずお／小学館 © KAZUO UMEZZ / SHOGAKUKAN

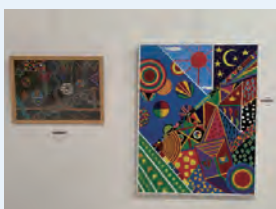
椋岡かずお(大芸術家) 1936年、和歌山県

高野山に生まれ、奈良県で育つ。小学校4年生で漫画を描き始め、高校3年生の時、『別世界』『森の兄妹』をトモブック社から単行本で出版し、デビュー。「へび少女」「猫目小僧」などのヒット作により、「ホラーまんがの神様」と呼ばれる。『漂流教室』で小学館漫画賞受賞。一方、「まことちゃん」でギャグの才能も発揮。作中のギャグ、「グワン」は社会現象となった。このほか、『おろち』『洗礼』『わたしは真悟』『神の左手悪魔の右手』『14歳』など、数多くのヒット作を生み出す。その他、タレント、歌手、映画監督など多数の肩書きを持ち、様々なジャンルで活躍中。2018年、『わたしは真悟』で仏・アングレーム国際漫画祭「遺産賞」受賞。また同年度、文化庁長官表彰受賞。2022年27年ぶりの新作『ZOKU-SHINGO』を発表。



18

佐渡アール・ブリュット展 佐渡アール・ブリュット



障がいをもつ方々が、独自の感性を発揮し、佐渡の風土の中で作り上げた作品の数々をお楽しみください。会期中、作品の入れ替えもあり、何度も楽しめるプロジェクトとなります。

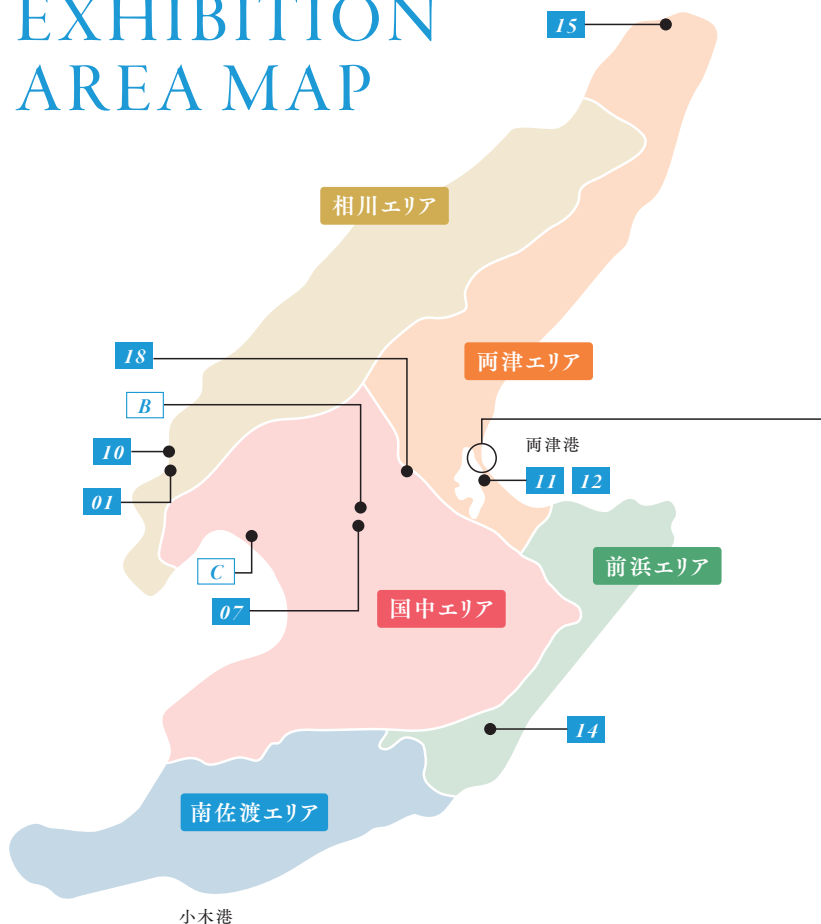
会 アートサロン 和(やわらぎ) 住 佐渡市立野143 P 有

佐渡アール・ブリュット 2016年、島内の素晴らしい才能を持つ作家を島内外に紹介したいという思いから、障害福祉に携わる有志10名ほどで実行委員会を結成。

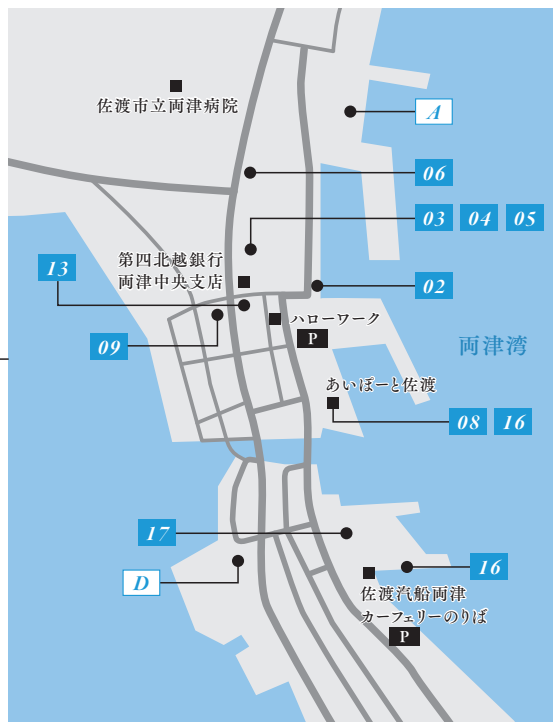
協力員として、障害福祉サービス事業所のメンバーも多数。作家は島内の障害を持つ方々に協力を依頼し、現在までに30名を超える作家の展示を行っている。



EXHIBITION AREA MAP



01 ~ 18 展示
A ~ D イベント



会場がマッピングされた
Google マップはこちら



さどの島銀河芸術祭チャンネル

自然、歴史、文化が今も色濃く残る島、佐渡島。島内外のアーティストや研究者が、それぞれの視点で、あらためて島の魅力を見つめ直す番組「さどの島銀河芸術祭チャンネル」。さどの島銀河芸術祭と連動した番組です。



サドテレビまたはYouTubeのさどの島銀河芸術祭チャンネルから
ご覧いただけます

番
組
配
信

【新型コロナウイルス感染症対策についてお願い】

- 風邪のような諸症状(発熱、咳、喉痛、腹痛など)のある方、または体調がすぐれない方は、参加をお控えください。
- 入場時に検温を実施させていただきます。
- 常時マスクをご着用ください。
- ご来場の際の手洗い・消毒をお願いします。
- フィジカルディスタンスの確保にご協力ください。
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点からスタッフの指示があった場合は、ご協力をお願いします。

作品鑑賞 パスポート

● 前売券 発売期間：6/15～8/6

一般 ¥2,000 高・専・大 ¥1,500

● 当日券 発売期間：8/7～10/9

一般 ¥2,500 高・専・大 ¥2,000

● 島民割引 発売期間：6/15～10/9

一般・高・専・大 ¥1,000

※購入の際に、佐渡市民であることを示すもの(島民カード等)をご提示ください。

※中学生以下・障害者手帳をお持ちの方は無料

● パスポートの購入

会期中(8/7(日)～10/9(日))は、佐渡観光案内所(両津、小木)、TAACHI、Guest villa on the 美一でパスポートをご購入いただけます。

Peatixでご購入いただいた方は、パスポートの実券にお引き換えの上、ご鑑賞ください。Peatixからパスポートの引き換えは、TAACHIのみとなります。詳しくは、Peatixのサイトをご確認ください。

<https://sadogalaxy2022.peatix.com/>



[当日券(パスポート)の販売]

TAACHI

〒952-0011 佐渡市両津夷53番1

佐渡観光案内所

〒952-0014 佐渡市両津湊353番地(佐渡汽船ターミナル内)

南佐渡観光案内所

〒952-0604 佐渡市小木町1935-26

Guest villa on the 美一

〒952-1315 佐渡市河原田諏訪町207-76

お問い合わせ

● Peatix 引き換え券からパスポートへの 引き換え場所

TAACHI

〒952-0011 佐渡市両津夷53番1

TEL:0259-67-7723 (火～土 11:00-18:00)

さどの島銀河芸術祭・総合案内

TEL:050-5305-5135 (10:00-17:00)

E-MAIL: info@sado-art.com

www.sado-art.com



助成 |

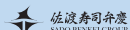


令和4年度 国際的文化的フェスティバル展開推進事業実施事業

公益財団法人福武財団 2022年度 研修助成「アートによる地域振興助成」

公益財団法人三菱UFJ信託地域文化財団

協賛 | サンフロンティア佐渡株式会社 代表取締役社長 堀口智顕様 / 株式会社日本旅行 / FUJIFILM / 株式会社弁慶 / 株式会社新潟管財企画 / MAD PRODUCTION / 株式会社ハーヴィッド / 株式会社CSコーポレーション



協力 | JA佐渡 / 早稲田大学 古谷誠章・藤井由理研究室 + 小岩金網株式会社 / 株式会社近藤組 / 株式会社スノーピーク / ヒューマン・キャピタル・コンサルティング株式会社 / 尾畑酒造株式会社 / 佐渡青年会議所 / 合同会社La Pagode / 株式会社福宝 / 佐渡水産物地方卸売市場 / 姫津漁港「かあちゃん直売所」 / 姫津漁業協同組合 / 佐渡漁業士会 / 卸売人共同計算センター / 株式会社造形社 / KENNAKASHI / 株式会社Perch / 有限会社石原水産

後援 | 新潟日報社 / 佐渡汽船株式会社 / 一般社団法人佐渡観光交流機構 / 株式会社ゴールデン佐渡 / サドテレビ / BSN新潟放送 / NST新潟総合テレビ / TeNYテレビ新潟 / UX新潟テレビ21 / 朝日新聞新潟総局 / 読売新聞新潟支局 / エフエムラジオ新潟



響く島 SADO

